

Ⅲ. 結果

1) 調査対象の属性

調査対象病院は、認知症の専門医を有し、積極的に認知症患者に対する治療を実践している2病院である。調査票は93人より回収され、A病院67人(72.0%)、B病院26病院(28.0%)であった。なお調査は現在も継続中であり、最終的な集計・分析は次年度に行う予定である。

調査対象者である認知症患者の家族と、認知症患者の関係は、実父・実母が45.2%と一番多く、夫・妻が34.4%、義父・義母が8.6%、その他が5.4%であった。介護している期間としては、0年も含めて1年未満が23.7%と多く、3～5年未満が18.3%、1～2年未満が12.9%、5年以上が10.7%であった。回答者及び認知症患者の属性を表1に示す。(表1)

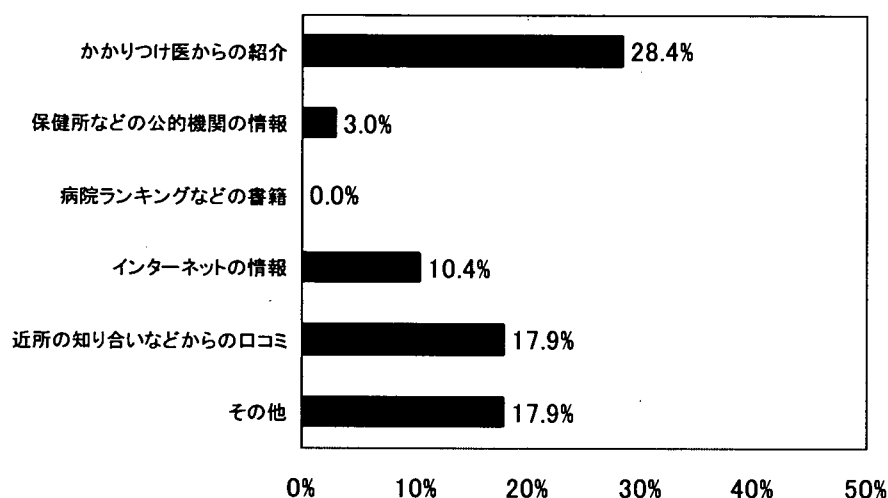
表1 回答者及び認知症患者の属性

		認知症患者		回答者	
計		93	100.0%	93	100.0%
性別	男性	30	35.5%	25	26.9%
	女性	50	53.8%	63	67.7%
	無回答	10	10.7%	5	5.4%
年代	30代	0	0.0%	3	3.2%
	40代	0	0.0%	17	18.3%
	50代	2	2.2%	25	26.9%
	60代	6	6.4%	17	18.3%
	70代	37	39.8%	20	21.5%
	80代	27	29.0%	6	6.4%
	90代	8	8.6%	0	0.0%
	無回答	13	14.0%	5	5.4%
介護期間	1年未満			22	23.7%
	1～2年未満			12	12.9%
	2～3年未満			8	8.6%
	3～5年未満			17	18.3%
	5年以上			10	10.7%
	無回答			24	25.8%

2) 認知症に対する医療機関の選択

認知症のためこれまでに医療機関を受診しているとは回答したのは、67人(72.0%)であった。そのうち、現在通院している医療機関を受診するまでに41.8%が苦勞したと回答した。その理由として、25.4%が「どの医療機関を受診したらいいのかわからない」、13.4%が「認知症を専門とした医師がわからない」であった。また、現在の医療機関に至るまでに25.4%が複数の医療機関を受診していた。その際、参考にした情報としては、「かかりつけ医からの紹介」が28.4%と一番多く、「近所の知り合いなどからの口コミ」17.9%、「インターネットの情報」10.4%であった。(図1)

図1 医療機関選択において参考にした情報

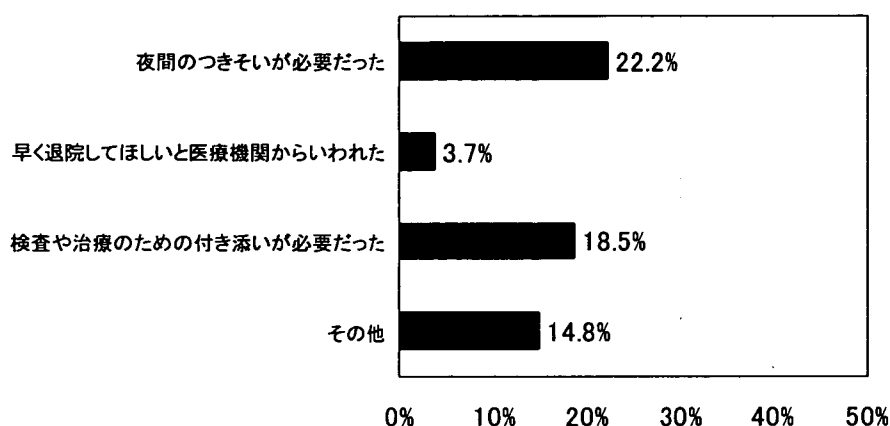


3) 身体合併症に対する医療機関の受診と入院経験

認知症患者の55.9%が認知症以外に医療機関で治療が必要な身体合併症を有していた。そのうち、61.5%は認知症でかかっているとは別の医療機関を受診していた。しかし、認知症を罹患していることが身体合併症のための医療機関を選択するのに苦勞したとの回答は、5.8%に留まり、また、9.6%が医療機関への受診を継続するために苦勞していると回答した。

身体合併症により29.0%に入院経験が認められた。そのうち、44.4%は入院中に困ったことがあったと回答し、その理由として22.2%が「夜間の付き添いが必要だった」としている。(図2)

図2 身体合併症による入院中に困ったこと



4) 介護サービスの利用と必要な支援策

介護サービスの利用については、45.2%が利用していると回答している。そのうち、利用されているサービスは85.7%がデイサービス、35.7%が訪問介護、26.2%がショートステイ、16.7%が介護用具（貸与・給付など）であった（複数回答可）。また、介護者が必要としている支援策としては、「有効な薬剤の開発」が41.9%と一番多く、その他「専門家による助言」「介護施設の整備」「介護サービスの充実」が多くあった（複数回答可）。

表2 必要としている支援策

支援策	割合
専門家による助言	40.9%
医療機関の紹介	12.9%
電話相談	5.4%
有効な薬剤の開発	41.9%
介護施設の整備	22.6%
訪問診療・訪問看護の充実	14.0%
介護サービスの充実	22.6%
その他	2.2%

IV. 考察

1) 認知症に対する医療機関の選択

認知症患者の72.0%が認知症のために医療機関を受診していると回答した。これは、調査対象が外来を受診された認知症患者の介護者であり、調査対象日が初診であった人もいたために100%とならなかったと考えられる。

認知症を専門とする医療機関を受診するまでに半数の回答者は何かしらの苦労をされたことがわかった。その多くは、医療機関や専門の医師がどこにいるかわからないというものである。それは、専門の医療機関を受診するまでに複数の医療機関を受診していることから明らかである。

患者及び介護者は、疾患や症状によりどこの診療科にかかればよいのか等の情報が不足しているといえる。現状においては、医療かかりつけ医が認知症の専門機関の紹介に寄与していると考えられその役割を強化することが必要である。今後、患者、介護者が必要としている医療機関選択にあたり情報提供のあり方を検討することが必要である。

2) 身体合併症に対する医療機関の受診と入院経験

認知症患者の過半数は身体合併症を有していた。これは、認知症患者の多くが70代以上の高齢であるため生活習慣病をはじめとして様々な疾患に罹患するリスクが高いといえる。

身体合併症の有無により医療機関を選択するのが困難であったとの回答は少ないものの、複数の医療機関を受診している患者が多いことから受診の継続への苦労が推察された。特に、認知症患者が入院する際、夜間の付き添いが必要であったなど、介護の負担感を示しており、家族の負担が少なく認知症患者が入院できる仕組みづくりが必要であろう。

3) 介護サービスの利用と必要な支援策

介護サービスを半数の患者が利用しており、特にデイサービスに多かった。支援策として、医療に関しては専門家による助言が多く挙げられており、認知症専門の医師および医療機関の所在について、介護者に対しわかりやすく情報を提供することが必要といえる。また、認知症患者が高齢化に伴い増加することが予測されており、社会基盤としての支援策のあり方を検討する必要がある。

V. まとめ

認知症患者の介護者は、医療機関を選択するにあたり苦労していることがわかった。患者の病状にあわせて適切な医療機関を受診できるように、専門の医療機関および専門家についての情報をとりまとめ、提供することが有用であろうと考えられる。また、医療のみならず介護の問題も大きく、認知症患者を取り巻く医療福祉の包括的な整備をどのように図るかが今後の課題である。本調査の対象者は最終的には認知症の専門医のいる医療機関を受診するにいたっており、その点では比較的恵まれた集団であると考えられる。一般の認知症患者および介護者を対象にした同様の調査が今後は必要であろう。

アンケート調査ご協力をお願い

社会の高齢化とともに認知症（痴呆）の方が増加しており、介護負担など大きな社会問題となっています。本調査は、厚生労働科学研究「認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究」（主任研究者 柳澤信夫）の一部として行われるもので、実際に認知症の方の介護を経験された(している)方にお答えいただき、より良い認知症のケアの体制を確立するための基礎的な資料となるものです。ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、回答者のプライバシーは厳重に保護されます。

お忙しいところまことに恐縮ではありますが、調査にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答の注意

- ・ 調査票は全部で6ページからなります。
- ・ 原則として当てはまるもの1つに○をつけてください。()には数字・文章でご回答ください。
- ・ 回収箱にご投函ください。
- ・ 調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

東邦大学医学部社会医学講座
医療政策・経営科学分野
瀬戸・長谷川
電話 03-3762-4151 内線 2415
Fax 03-5493-5417

【認知症の方とのご関係についてお伺いします】

問1 認知症の方は、あなたから見てどのような関係にありますか。また、認知症の方の年齢・性別をお聞かせください。

(関係)

1. 実父・実母 2. 義父・義母 3. 夫・妻
4. その他 ()

(年齢) () 歳

(性別) 男性 ・ 女性

問2 介護した(している)期間はどれくらいですか。(認知症のために特別な介護が必要になってからの期間をいいます)

() 年 () ヶ月

【現在受診中の医療機関についてお伺いします】

問3 現在、認知症のために医療機関を受診していますか。

1. いいえ → (問4にお進みください)
2. はい → それはどのような医療機関ですか。
 1. 精神科の診療所
 2. 精神科以外の診療所 →何科ですか () 科
 3. 一般病院の精神科
 4. 一般病院の精神科以外の診療科→何科ですか () 科
 5. 精神科病院
 6. その他 ()

問3-1 (問3で「はい」の場合) 現在、通院している医療機関を受診するまでに苦労したことがありますか。

1. いいえ
2. はい → それはどのような場合でしたか。
(あてはまるもの全てに○をおつけください)
 1. どの医療機関、診療科を受診したらよいのかわからない
 2. 認知症を専門とした医師がわからない
 3. その他 ()

問3-2 (問3で「はい」の場合) 現在、受診している医療機関に至るまで複数の医療機関を受診しましたか。

1. いいえ
2. はい → それはいくつ位ですか。 約 () 施設

問3-3 (問3で「はい」の場合) どのような情報を参考にして医療機関を見つけましたか。(あてはまるもの全てに○をおつけください)

1. かかりつけ医からの紹介
2. 保健所などの公的機関の情報
3. 病院ランキングなどの書籍
4. インターネットの情報
5. 近所の知り合いなどからの口コミ
6. その他 ()

【身体合併症についてお伺いします】

問4 認知症以外に、医療機関で治療が必要な疾患（身体合併症）はありますか。

1. なし → (問5にお進みください)
2. あり → それはどのような疾患（身体合併症）ですか。
()

問4-1 (問4で「あり」の場合) そのために医療機関を受診しましたか(していますか)。

1. いいえ
2. はい → それはどのような医療機関ですか。
 1. 認知症で受診したのと同じ医療機関
 2. 認知症で受診したのとは別の医療機関

問4-2 (問4で「あり」の場合) その医療機関では何科を受診しましたか。
またその医療機関には精神科の医師がいましたか。

1. 受診した診療科 ()
2. 精神科医師は 1. いない 2. いる 3. わからない

問4-3 (問4で「あり」の場合) 認知症のために、受診する医療機関を見つけるのに苦労したことがありますか。

1. なし
2. あり → それはどのような場合でしたか。
(あてはまるもの全てに○をおつけください)
 1. 認知症のため医療機関から断られた
 2. 身体合併症の専門病院が受診できない
 3. その他 ()

問4-4 (問4で「あり」の場合) 認知症のために、医療機関における受診を継続するのに、苦労したことがありますか。

1. なし
2. あり → それはどのような場合でしたか。
()

問5 認知症以外の疾患（身体合併症）で医療機関に入院したことはありますか。

1. なし → （問6にお進みください）
2. あり → それはどのような疾患（身体合併症ですか）。

（ ）

問5-1 （問5で「あり」の場合）医療機関に入院中に困ったことはありましたか。

1. なし
2. あり → どのようなことに困りましたか。
（あてはまるもの全てに○をおつけください）
 1. 夜間の付き添いが必要だった
 2. 早く退院して欲しいと医療機関からいわれた
 3. 検査や治療のための付き添いが必要だった
 4. その他（ ）

問5-2 （問5で「あり」の場合）認知症以外の疾患（身体合併症）の治療後、他の医療機関への転院の経験はありますか。

1. なし
2. あり → その際、医療機関を見つけるのに苦労しましたか。
 1. いいえ
 2. はい → どのようなところに苦労しましたか。
（ ）

【介護の負担についてお伺いします】

問6 介護の負担はどれくらいですか（でしたか）。

1. まったく負担でない
2. 多少負担に思う
3. かなり負担だと思う
4. 非常に大きな負担である

問7 どのような負担がもっとも大きく感じられますか（したか）。

- | | | |
|----------------|-----------|-----------|
| 1. 徘徊 | 2. 大声をだす | 3. 暴言や暴行 |
| 4. 同じ質問を繰り返す | 5. 物をかくす | 6. 被害的な発言 |
| 7. 作話を周囲に言いふらす | 8. その他（ ） | |

問8 介護のために家族間での人間関係に影響がありましたか。

1. あった
2. なかった

問 9 介護に必要とした金額は、一ヶ月当たりおおよそいくら位ですか。

医療機関へ 月 () 円位
介護保険サービス利用で 月 () 円位
その他 月 () 円位

問 10 介護保険によるサービスを利用しましたか。

1. いいえ

2. はい → 利用されたサービスは何ですか。

(あてはまるもの全てに○をおつけください)

1. デイサービス 2. ショートステイ 3. 訪問介護 (ヘルパー)
4. 訪問看護 5. 訪問診療 6. 訪問入浴介護 7. 介護用具
8. 訪問リハビリ 9. 訪問歯科診療 10. その他 ()

問 11 もしあれば役に立ったと思う支援策はありますか。

(あてはまるもの全てに○をおつけください)

1. 専門家による助言
2. 医療機関の紹介
3. 電話相談
4. 有効な薬剤の開発
5. 介護施設の整備
6. 訪問診療・訪問看護の充実
7. 介護サービスの充実
8. その他 ()

【回答者についてお伺いします】

問 12 回答された方の性別・年齢についてお聞きします。

性別 1. 男 2. 女
年齢 () 才

問 13 この調査や認知症対策について希望する事柄があれば自由に記載してください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。